

キャリアーナウ (Career Now)、南区相模大野は、相模原地域の中小企業向けに人材開発のキャリアコンサルタント事業を提供しています。社長が孤軍奮闘するケースが多い中小企業において、社員個人のポテンシャルを引き出し、組織を活性化するにはどうしたらいいのか？ そのコンサルティング手法には、ベトナム難民として来日した両親のもと、自ら人生を切り開いてきた志村亜希子代表の経験と前向きな姿勢が生きています。

—社員研修の会社とキャリアーナウの違いは？

「対象となる社員に対し、研修を実施するだけでなく、個人ごとのテーマを設定してPDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルを回し、定期的な面談を繰り返します。例えば、会社の評価が低く本人にも自信のない中間管理職・Aさんがいました。一般的な研修で管理職の役割を教えるだけでは、このタイプの人は変わりません。キャリアーナウは面談でじっくり話を聞いて課題を洗い出し、『今まで上司が指示していた内容をこれからはAさん自ら部下に指示する』と行動目標を自ら設定するよう支援。目標を実行するべく努力し、結果を確認し、達成すれば新しい目標を設定。その繰り返しで、Aさんは自信を取り戻していきます」

—代表はベトナムで生まれ1992年に日本人として帰化したと聞きました。人の能力を伸ばすという御社の事業は、ご苦労された代表の人生経験と深く関係しているのでは。

「私は1980年に生まれ、中学校教

師の父と看護師の母は翌81年にベトナムを脱出。難民を乗せた船は海賊に襲われて漂流しているところを米国のタンカー

人生切り開いた経験で 個人の能力引き出す

キャリアーナウ
代表 志村 亜希子さん

に救助され、次の寄港地だった日本で難民として受け入れられました。小さな頃はおかずがなく、ご飯だけのお弁当を食べるような暮らしでしたが、日本は平和だしチームワークがあるし、本当によい国です。公立の小学校、中学校、高校から上智大学外国語学部に進学しました」

「卒業して第一生命に入社すると、営業成績が認められ営業職から総合職になりました。そして、買収したばかりのベトナムの保険会社に派遣されました。ここでベトナムに生命保険を普及させる人材を育てたこと、日本に戻っても営業職員の採用・育成に関わることでキャリアーナウの基礎ができました」

—2019年に働く女性を対象にキャリアーナウを設立、22年10月から対象を地域の中小企業を中心としたBtoBに特化しています。

「相模原商工会議所の『相模原市青年工業経営研究会』に入会して、経営者としての一歩を踏み出す覚悟ができました。中小企業の社員と面談していると、皆さん素晴らしい仕事をしているのに、自分の仕事に対する誇りを失ってしまっ

たり、主体性を失ってしまっていることが多いと気づきました。周囲から見放された社員と面談してみると、やり方がわからない仕事を『できません』と言えず抱え込んでいたりします。『考えるのは10分、調べるのは10分。それでも分らなかったら周りに聞く』と、かんたんなアドバイスでも驚くほど主体性が高まり、高パフォーマンス社員に変身します」

「キャリアーナウのコンサルティングは、1社に2名体制です。従業員1000人規模の中小企業の管理職を対象に研修と面談を交互に行い、さらに、ビジネスSNSによる随時サポートを行うって年間250万円程度。管理職の部下育成力の向上と一般社員の主体性を上げ、高パフォーマンス化することに自信があります」

